

2023 年度第 5 回川崎市 PPP プラットフォーム意見交換会 実施結果概要

事業名等	生田緑地ばら苑の再編整備
事業所管課	建設緑政局緑政部みどりの事業調整課
実施日時	令和 6 年 3 月 1 1 日（月曜日） 1 2 日（火曜日）
参加事業者	全 4 社
対話方式	個別対話
意見交換会における主な意見等	
事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ・独立採算制を目指せるような事業手法や利用料金設定が望ましい。 ・指定管理者制度が望ましい。 ・事業者側の意見が反映されやすい方法があるとよい。
参入時期	<ul style="list-style-type: none"> ・設計から関わられたほうが、コンセプトが考えられるし、柔軟性も上がる。 ・事業の構想段階から参画できればいいと思っている。魅力を高めることにもつながる。 ・設計と運営が一体的にできることが望ましい。 ・コンセプト、設計、運営を分けて検討することは望ましくない。
料金体系	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の水準を 1 段階上げるためには、利用料金制の導入は必要。 ・利用料金を上げられるような価値の向上を図ることが望ましい。
開苑期間	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの時間開放したほうがいい。もったいない。 ・年間通じてできないと運営としては厳しい。 ・周辺に楽しめる施設があるので、連携したイベントをばら苑で実施して、日常的にばら苑があるようなコンセプトが望ましい。
施設・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・管理に関わる部分でコンテンツを提供するなどにより企画をコーディネートすることが可能。 ・公共交通機関で来苑できるとよい。

バラ・混植等	<ul style="list-style-type: none"> ・バラだけではなく、他の植物も一緒に植えることで、年間を通して楽しめる。 ・最近ではナチュラルガーデンが増えてきているが、ここは、バラメインにしたほうが望ましい。
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動は、役割を決めたうえで、行ったほうが良い。 ・講座は管理の方法を伝える手法として効果的。 ・ボランティアゾーンを設けるのもあり。
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・生田緑地の中央地区と一体的な取組としたほうがいいのではないかと考えている。 ・ミュージアムと一体で考えることで、シームレスとなり、見栄えが良く、活用のしがいがある。 ・コアなファンはリピーターとなるが、子供連れは難しいので、生田緑地も一体であるとよいと考えている。 ・ミュージアムとばら苑は、セットでも違和感はない。コンセプトの整理は必要だが、両方のお客様を抱えることについて違和感はない。
今後の対応	
<p>今回のご意見を参考にしながら、生田緑地ばら苑の再編整備に向けた効果的な事業手法等の検討を進めてまいります。</p>	

※上記内容については、参加者の承諾を得られたもののみ公表しています。

【問合せ先】

川崎市建設緑政局緑政部みどりの事業調整課

電話：044-200-1202

Eメール：53mityo@city.kawasaki.jp